



小野 幸男 議員

1、これまでの質問の検証を含め今後の取り組みについて伺う

Q ①ナマコの養殖とサケの孵化場の早急なる改善策を伺う。
 ②浜市小の利用計画は、現状のままか、新たな取り組みは思案中か伺う。
 ③市のストックマネジメントにおいての、方向性の検討された進捗を伺う。
 ④予算がかかるセルコホームあおみなと農林施設の来年度の削減策を伺う。

Q これまでの質問の検証を伺う
A 役割りと責任を持って取り組む
 ⑤観光拠点としての公社の運営の意気込みと里浜地区のオルレに関する住民説明会の対応を伺う。
 ⑥副市長2人制による効果と職員とのコミュニケーションシヨンは万全か。
 ⑦学力向上は至難の業と受け止め、東松島市に移住したい方を含め、学力向上策の対応を伺う。

Q ①2020年東京オリンピック・パラリンピック競技会の聖火が同年3月20日に松島基地到着という慶事が当市にもたらされた。この明るい話題をスポーツを活用した地域づくり推進のチャンスと捉えたい。そこで以下の所見を伺う。スポーツを通しての交流人口の拡大は。日本体育

A 市長 ①貴重な水産資源と認識する。また新たな水源も確保されるので、引き続き宮城県と協力し支援する。
 ②11月2日に補助事業が採択され、(株)東松島ファームが来年度の夏頃までに本格的に開始される。
 ③財政状況が年々厳しい中で、将来的には地元負担も検討し、統廃合もま

Q これまでの質問の検証を伺う
A 役割りと責任を持って取り組む
 ちづくりと整合を図りながら進める考えである。
 ④補助事業の制限があり効率的運営ができるよう経費削減に努める。
 ⑤奥松島公社の収益向上の機会と考え、取り組みを促し、また地元説明会は早急に調整する。
 ⑥公約実現のために全身全霊をもって公務に当たり、責任を持って頑張る。
 ⑦勉強・目標・夢の実現の時間を決めて勉強する子供を増やしていく。



▲東京オリンピックを契機にスポーツによる地域づくりを!



櫻井 政文 議員

1、オリンピックを契機にスポーツを活用した地域づくりの取り組みを推進せよ
2、市職員の中で女性管理職の割合を高めることについて

Q ①2020年東京オリンピック・パラリンピック競技会の聖火が同年3月20日に松島基地到着という慶事が当市にもたらされた。この明るい話題をスポーツを活用した地域づくり推進のチャンスと捉えたい。そこで以下の所見を伺う。スポーツを通しての交流人口の拡大は。日本体育

Q スポーツによる地域づくりを!
A 観光振興や市のPRに繋げる

Q ①2020年東京オリンピック・パラリンピック競技会の聖火が同年3月20日に松島基地到着という慶事が当市にもたらされた。この明るい話題をスポーツを活用した地域づくり推進のチャンスと捉えたい。そこで以下の所見を伺う。スポーツを通しての交流人口の拡大は。日本体育

A 市長・教育長
 ①スポーツを活用した誘客は観光振興に必要な視点。デンマークとの「復興ありがとうホストタウン」などを活用し本市の発信をしていく。日本体育大学やタイケン学園とはアスリートを招き、スポーツ振興を図っている。
 ニューススポーツによる

Q これまでの質問の検証を伺う
A 役割りと責任を持って取り組む
 商店街活性化は地域が実施したい意向が示されれば支援したい。当市からオリンピック選手輩出案については慎重に検討したい。
 市民運動会開催については各地域の負担増を懸念している。
 ②人事評価については性別に係わらず公平に評価している。職場環境づくりは研修や職場内のコミュニケーションを図り、人材育成にも尽力する。



▲複合施設の各団体が一体となった取り組みでさらなる集客と公社の運営に期待